

評価結果



1-1 建物概要

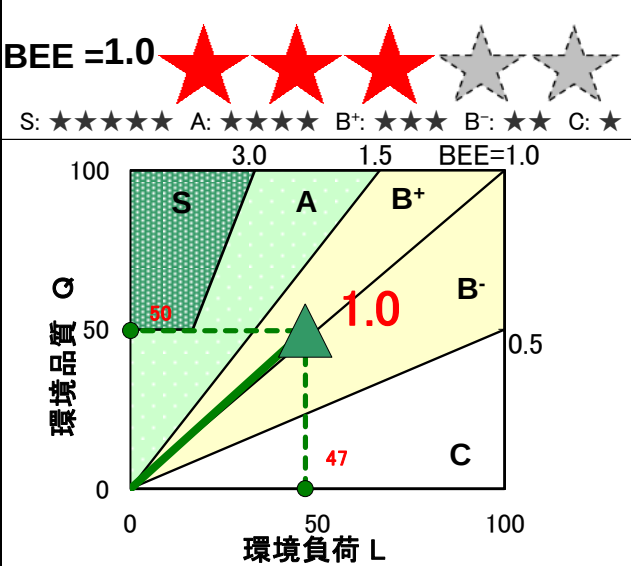
建物名称	広島マツダ 可部店 新築工事
建設地	広島県広島市安佐北区可部南4丁目
用途地域	準工業地域
気候区分	6地域
建物用途	物販店,工場,
竣工年	2017年7月 予定
敷地面積	2,133 m ²
建築面積	1,484 m ²
延床面積	3,116 m ²

階数	地上3F
構造	S造
平均居住人員	100 人
年間使用時間	4,380 時間/年
評価の段階	実施設計段階評価
評価の実施日	2017年3月9日
作成者	松本拓也
確認日	2017年3月10日
確認者	定森淳一

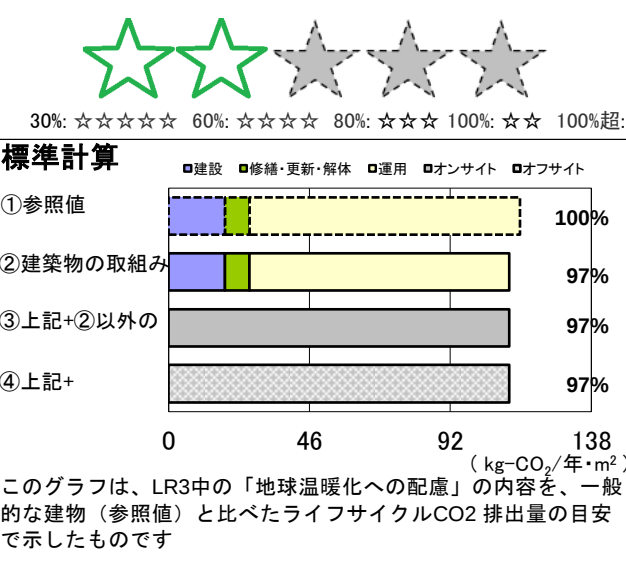
1-2 外観



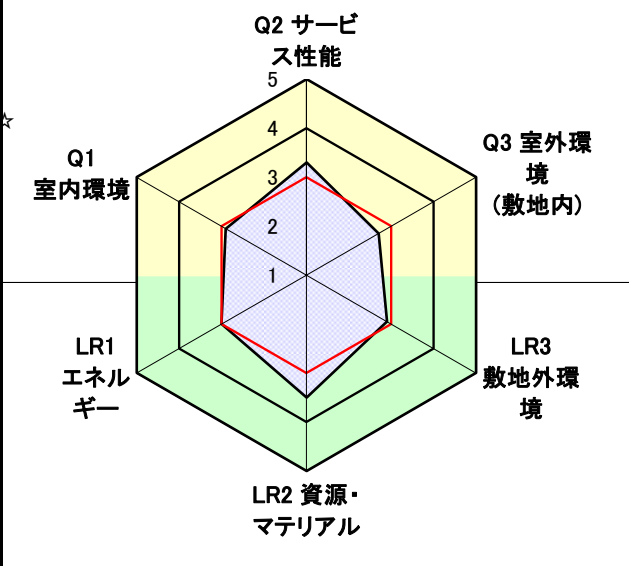
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



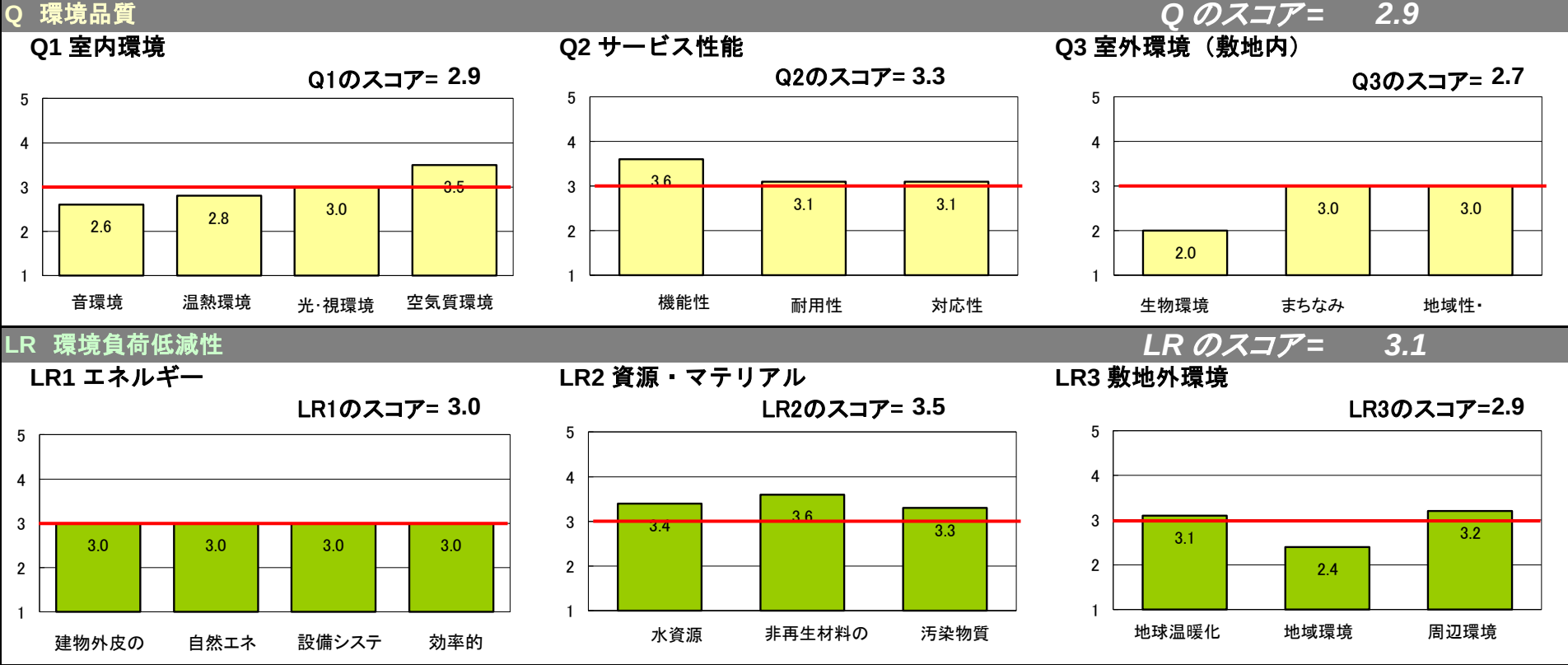
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア= 3.0		
「地球温暖化対策」の推進 スコア= 3.2	「ヒートアイランド対策」の推進 スコア= 2.2	「長寿命化対策」の推進 スコア= 3.1
設計の計画上特段に配慮した事項 ・自動水栓に加え、節水型便器の採用 ・再生クラッシュラン(路盤材)、タイル(床材)、ビニル床シート(床材) ・LGS下地の採用、フリーアクセスフロア、可動間仕切の採用 / ・LCCO ₂ 排出率97%	設計の計画上特段に配慮した事項 /	設計の計画上特段に配慮した事項 ・床：タイル・ペット20年、壁：せっこうボード25年、天井：せっこうボード25年 ・給排水管は上位3種がB以上、Eは不使用 /

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される